

ほほえみ

4月号

HOHOEMI

東京都渋谷区恵比寿1-13-6
恵比寿ISビル9号棟3階
☎0120(137)165
http://www.jp-life.net



作家
志茂田景樹さん

読み聞かせ隊長として 全国を訪ね歩く 伝えたい思いとは



知人からお土産に
もらった緑のソウ。
「キリンとかゾウと
か大型動物が好き
なんです」

直木賞作家、タレント、
ファッションモデル、悩み相談…
幅広い活動で注目を浴びてきた
ますます軽快なフットワークで
楽しく、ワクワクを仕事にする



profile

しもだ・かげき 1940年、静岡県生まれ。推理、架空戦記、歴史など幅広いジャンルの小説を発表する一方で、「笑っていいとも!」出演などのタレント活動や個性的なファッションでも注目を集める。現在は絵本の執筆、読み聞かせを中心に活動

人生年表 HISTORY

29歳

弁護士事務所や保険調査員、探偵など20の職業を転々とした後、短編執筆を開始。新人賞を目指す

36歳

自身の経験をベースにした「やっさと探偵」で小説家デビュー。講談社の小説現代新人賞を受賞

40歳

秋田のマタギ社会を描いた「黄色い牙」で直木賞を受賞。山本寛斎ファッションショーにモデル出演

56歳

個人事務所出版部門「KIBA BOOK」を設立。自作の刊行を中心に、他の作家のプロデュースも

58歳

妻・光子さんと「よい子に読み聞かせ隊」を結成し、隊長に。自らの家族再生のきっかけにもなった

70歳

短文投稿サイト「ツイッター」を始める。一般からの人生相談に真摯に応える姿勢が評判を呼ぶ

取材・文 ● 齊藤真紀子 写真 ● 吉澤咲子

絵本でよみがえる母の記憶
移動中はネットでつぶやく

よい子のみんな、大人のよい子の皆さま、こんにちは!!
読み聞かせで全国をまわっています。絵本や童話を子どもに読んであげる大切さを伝えたいんだ。子どもたちの感受性や知識を育み、人生を豊かにするからね。「よい子に読み聞かせ隊」を結成して、16年を迎えました。

きっかけは1990年代の終わり、サイン会に出かけた福岡のこと。時間があつたので、会場の書店にあつた「3匹の子ぶた」と新美南吉の童話集の読み聞かせをしたら、子どもやお母さんたちの目が輝いたんです!

母に絵本を読んでもらった幼いころの記憶が、声とともによみがえってきたんだ。僕は特に「3匹の子ぶた」が大好きで何度もおねだりしたそうです。2人の息子の父親としては、仕事が忙しくて読み聞かせは一度もできませんでしたが…。

読み聞かせをはじめ、講演やラジオ出演などいろいろな活動をしています。移動時間はインターネットの「ツイッター」で、つぶやいていることが多いですね。

ファッションに年齢はない
楽しい気持ちになる服を

安くて手軽なファストファッションが好き。自分が着ていてワクワク

く、楽しい気持ちになる服を選んでいきます。年齢も周りも関係ない。昔からタイトスを履いていますが、破れたところに重ねて履いていたスタイルが今、若者のファッションに取り入れられていて面白い。僕は先を行っていたんだね。

健康を保つため、週5日はウォーキングをしています。銀座や有楽町で飲んだら、40分から1時間かけて歩いて帰ってきます。チンパンジーみたいに、ぶら下がって健康器で片手懸垂もするんです。食事は野菜中心にバランスよく。

家族とは遠く離れていても、何となくつながっていればいいんじゃないかな。互いにくたりすることが愛情ではないかと思っています。親の価値観を押し付けてはいけなし、子どもも人生は自分で選択してほしいと願ってきたからね。

一方で、ツイッターには若者たちの生死にかかわるような深刻な悩みが絶え間なく届きます。若い世代は周りとうまくやっていくのが上手。でも友だちに本音を見せづらく、僕に相談するのもかもしれないね。人生経験を重ねると、さまざまな角度で物事をとらえることができるので、応援のメッセージを書き添えています。

今後、年に2冊は長編小説を書きたい。電子書籍用には、ちょっといい長さで読み切れる奇想天外な作品を書き下ろします。人生はまだまだこれからだね。